





敦賀港開港 120周年 ロゴマーク



- ・オランダ・ポーランド・イスラエル・リトアニアの国旗色をあしらい、国際色豊かな敦賀港をイメージ
- ・上下の青は、空と海をイメージ
- ・赤は気比の鳥居・赤レンガ倉庫・夕日など、白は砂浜・市の鳥ゆりかもめ・立石岬灯台など、青は海・空、緑は松原、黄色は花火など、地元の意味合いを持つ

オランダ	ポーランド	イスラエル	リトアニア
			
<p>1920年 ポーランド孤児上陸</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロシア革命のシベリアで家族を失ったポーランド孤児763人が、日本赤十字社などの救助により敦賀港に上陸 <p>1940年 ユダヤ人難民上陸</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ナチスの迫害から逃れるため、ユダヤ人難民たちは、日本通過ビザを求めてリトアニアの日本領事館に押し寄せた ・当時、日本領事代理だった杉原千畝が「命のビザ」を発行、オランダ領事代理の動きもあり約6000人のユダヤ人難民が敦賀港に上陸 ・「杉原ビザ」受給者の一人で、ユダヤ教が多数派を占めるイスラエルの参事官と再会（1968年） 			